

福井県立恐竜博物館 開館25周年記念特別展
「獣脚類2025 ～「フクイ」から探る恐竜の進化～」
企画概要書

1 概要

開館25周年を迎える令和7年度の特別展では、人気の高い獣脚類の恐竜をテーマに取り上げる。これまで福井県では6種の新種恐竜が発見されてきたが、それらは恐竜の進化史の中でどのような位置を占めるのだろうか。

本展では、「フクイ」の名を冠する3種の獣脚類と、今後の発見が期待されるスピノサウルス科に焦点を当て、それぞれの系統の進化史を紹介する。また、それらの発見とその後の研究の重要性に加え、35年以上にわたる発掘調査が持つ意義についても理解を深める機会を提供する。

2 開催期間

令和7年7月11日（金）から11月3日（月・祝）までの116日間
（ただし、9月10日（水）、9月24日（水）、10月8日（水）、10月22日（水）は休館）

3 開場時間

（1）通常期

午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

（2）繁忙期（7月19日（土）～8月17日（日））

午前8時30分から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）

4 開催場所

福井県立恐竜博物館 特別展示室 （勝山市村岡町寺尾51-11）

5 展示・企画内容

展示は大きく4つのゾーンに区分し、テーマ別に資料を展示する。獣脚類の系統図上で分岐した順に、福井県で歯化石が見つかったスピノサウルス科、フクイラプトルが属するメガラプトル類、ティラノミムスが属するオルニトミモサウルス類、フクイベナートルが属するテリジノサウルス類について、それぞれの進化史を紹介する。

（1）スピノサウルス科の進化

（ア）内 容

1989年から勝山市で行われている発掘調査で発見された化石の中に、スピノサウルス科の歯化石が含まれていることが近年判明し、骨化石の発見に期待が高まっている。このゾーンでは、このスピノサウルス科の起源と進化について取り上げ、中でも特に有名なスピノサウルスの研究史および近年の進展について紹介する。

（イ）主な展示物

・バリオニクス全身骨格

- ・スピノサウルス全身骨格（新復元：日本初公開）
- ・スピノサウルスのホロタイプ復元模型（日本初公開）

（２）メガラプトル類の進化

（ア）内 容

フクイラプトルの属するメガラプトル類は、その起源に関して２通りの仮説が存在し、現在も議論が続いている。それぞれの仮説に基づき、大型肉食恐竜の系統として有名なアロサウルス上科およびティラノサウルス上科の進化史を紹介する。

（イ）主な展示物

- ・フクイラプトル全身骨格
- ・ネオベナートル全身骨格
- ・アジアティラヌスのタイプ標本（実物：日本初公開）
- ・アジアティラヌス頭部復元模型（日本初公開）
- ・エオティラヌス頭骨（複製）
- ・プーウィアンベナートルのタイプ標本（複製：日本初公開）
- ・ヴァユラプトルのタイプ標本（複製：日本初公開）
- ・メガラプトル全身骨格

（３）オルニトミモサウルス類の進化

（ア）内 容

一昨年に発見されたティラノミムスは、「ダチョウ恐竜」とも呼ばれるオルニトミモサウルス類に分類される。しかしその進化史の中では、ダチョウとは全く異なる姿へと進化していくものが現れた。

（イ）主な展示物

- ・ティラノミムス全身骨格（世界初公開）
- ・キンナリーミムスのタイプ標本（複製：日本初公開）
- ・デイノケイルス部分骨格（複製）
- ・ペレカニミムス生体復元模型

（４）テリジノサウルス類の進化

（ア）内 容

テリジノサウルスは鎌のような巨大な爪を持つことで知られるが、その仲間で共通に見られる特徴はむしろ小さな頭、長い首など、草食性と関連づけられるものであった。近年の研究で、その最も原始的なメンバーである可能性が判明したフクイベナートルを軸に、その進化史を紹介する。

（イ）主な展示物

- ・フクイベナートル全身骨格
- ・ベイピャオサウルス生体復元模型
- ・アルシャサウルス全身骨格
- ・テリジノサウルスの手骨格（複製）

6 講演会

- (1) 期 日：7月12日（土） 14：00～15：30
講 師：ポーツマス大学上級講師 ニザール・イブラヒム博士
内 容：「スピノサウルスー白亜紀の失われた巨大恐竜」
- (2) 期 日：10月25日（土） 14：00～15：30
講 師：浙江自然博物院研究員 鄭文傑博士
内 容：「アジアティラノスの発見・研究とその意義」

7 関連行事

- (1) 特別展解説ツアー（4回）
- (2) 博物館セミナー（1回） ※いずれも講師は特別展の担当研究員

8 観覧料（税込）

- (1) 個人料金
一般：1,800円、高校・大学生：1,600円、小・中学生：1,000円、
70歳以上：1,000円
- (2) 団体料金（30名以上）
一般：1,600円、高校・大学生：1,300円、小・中学生：800円、
70歳以上：800円

9 展示図録

販売価格 1,200円（税込）

10 主 催

「獣脚類2025」実行委員会 （福井県立恐竜博物館、(株)福井新聞社）

11 共 催

NHK福井放送局

12 特別協力

ハッサンⅡ世カサブランカ大学、浙江自然博物院、シリントーン博物館、
Higher Visions GmbH、Prehistoric Minds srls

13 協 力

福井県立大学恐竜学研究所

14 後 援

富山・石川・滋賀 各県教育委員会
福井放送株式会社、福井テレビジョン放送株式会社、福井エフエム放送株式会社

“肉食の一族”
型破りな進化に迫る

開館25周年記念特別展

獣脚類2025

「フクイ」から探る恐竜の進化

2025.

7.11●金▶11.3●月・祝

休館日 / 9.10(水)、9.24(水)、10.8(水)、10.22(水)

開館時間 / 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

※夏休み期間(7.19～8.17)は午前8時30分～午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

【特別展観覧料】一般 1,800円 / 高・大学生 1,600円 / 小・中学生 1,000円 / 70歳以上 1,000円 ※常設展もご覧いただけます。

主催:「獣脚類2025」実行委員会(福井県立恐竜博物館、株式会社福井新聞社) 共催:NHK福井放送局
特別協力:ハッサンⅡ世カサブランカ大学、浙江自然博物院、シリントーン博物館、Higher Visions GmbH、Prehistoric Minds srls
協力:福井県立大学恐竜学研究所 後援:富山・石川・滋賀 各県教育委員会、FBC、福井テレビ、FM福井

入館には日時指定の観覧券が必要です。当館ホームページから事前に購入してください。

福井県立恐竜博物館

〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11
TEL: 0779-88-0001 / FAX: 0779-88-8700
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp>

博物館
HP▶



チケット
購入
ページ▶



獣脚類は、どのようにして多様に進化・繁栄したのか？

「フクイ」で発見された4種の獣脚類から、4つの系統の進化を紐解く。

スピノサウルス科の進化

発掘で歯だけが発見された“スピノサウルス科”はどのような恐竜だったのか？これを解き明かす鍵として、スピノサウルス科の進化を紐解き、中でもスピノサウルスの研究史と近年判明したその新たな姿を紹介する。



最新復元の全身骨格を日本初公開

▼最新復元のスピノサウルス全身骨格

Credit: The Munich Show - Germany

ZONE 2 メガラプトル類の進化

フクイラプトルが属するメガラプトル類の起源は、2通りの仮説の間で揺れ続けている。メガラプトル類の進化に加えて、これらの仮説の中で起源として考えられている、アロサウルス上科とティラノサウルス上科についても紹介する。

日本初公開

アジアティラヌス ▶
実物化石



ZONE 3 オルニトミモサウルス類の進化

世界初公開

▲ティラノミムス全身骨格

新たに新種として報告されたティラノミムス・フクイエンシスは、オルニトミモサウルス類の中では「異形」とも言えるデインケイルスへと続く系統に位置付けられる。草食性や走行性など、多様なオルニトミモサウルス類の進化を紹介する。

テリジノサウルス類の進化

長年に渡って系統的位置が謎に包まれていたフクイベナートルは、近年、原始的なテリジノサウルス類である可能性が示された。小さな頭に長い首、巨大な爪をもつテリジノサウルスへと続く、その特異な進化の過程を紹介する。

テリジノサウルス
手骨格

ZONE 4

特別展観覧料	一般	団体 (30名以上)
一般	1,800円	1,600円
高・大学生	1,600円	1,300円
小・中学生	1,000円	800円
70歳以上	1,000円	800円

※未就学児は無料でご覧いただけます。
※年間パスポートで特別展もご覧いただけます。
※障害者手帳などをご提示の方および付き添いの方1名様につきましては割引が適用され、個人料金の半額になります。

特別展観覧券で
常設展もご覧いただけます。

特別展講演会

講師

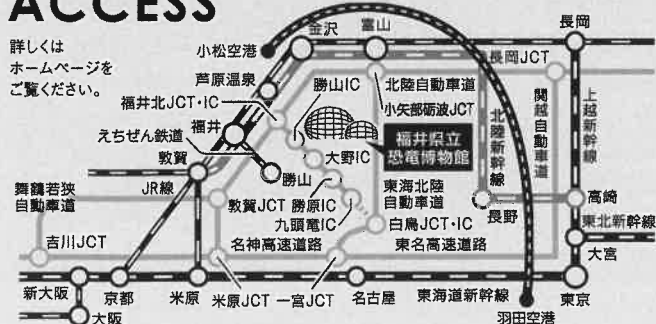
スピノサウルス研究の第一人者
ニザール・イブラヒム博士
(イギリス・ボーツマス大学) (7月予定)

講師

アジアティラヌスの命名を行った研究者
鄭文傑博士 (中国・浙江自然博物院) (10月予定)

ACCESS

詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



お車で	北陸自動車道【福井北JCT・IC】中部縦貫自動車道勝山IC経由..... 約30分 東海北陸自動車道【白鳥JCT・IC】中部縦貫自動車道・油坂峠道路経由..... 約90分
レンタカー ご利用の 場合	福井駅から一般道→中部縦貫自動車道勝山IC経由..... 約50分 金沢駅から北陸自動車道【金沢西IC~福井北JCT・IC】 中部縦貫自動車道勝山IC経由..... 約90分 小松空港から北陸自動車道【安宅スマートIC~福井北JCT・IC】 中部縦貫自動車道勝山IC経由..... 約60分
鉄道で	福井駅 → えちぜん鉄道 → 勝山駅 → タクシー・バスなど → 恐竜博物館 (約55分) (約10分)
飛行機で	小松空港から連絡バスで福井駅まで。福井駅でえちぜん鉄道にお乗り換えください。

入館には日時指定の観覧券が必要です。 当館ホームページから事前に購入してください。

福井県立恐竜博物館

主催:「獣脚類2025」実行委員会 (福井県立恐竜博物館、株式会社福井新聞社)
〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 TEL: 0779-88-0001 / FAX: 0779-88-8700
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp>

博物館
HP▶



チケット
購入
ページ▶

